

実務展望

てんぼろ

一般社団法人 東京都溶接協会
 公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会
 株式会社 三浦事務所
 発行所・東京都江東区大島三丁目1番11号
 産学協同センター
 電話 03-3685-5700 (代表)
 編集発行人 三浦 繁夫 © 2012
 毎月1回1日発行 定価 100円・〒共



＜階段国道＞ 青森県東津軽郡外ヶ浜町三厩竜飛

編集部撮影

国道 339 号線は青森県弘前市から青森県東津軽郡外ヶ浜町字三厩までの約 105km を結ぶ。そのうち竜飛灯台付近から竜飛漁港付近を結んでいる階段部分が、昭和49年に国道として指定された。段数は 362 段あり標高差は約 70 m。他に例を見ないため北海道が望める竜飛岬灯台とならんで観光名所となっている。(カラー版は <http://www.miura21.co.jp> でご覧いただけます)

ボイラー溶接士学科試験受験準備講習会

各地区安全衛生技術センターでは、普通・特別ボイラー溶接士学科試験を平成24年9月14日に実施いたします。当協会では下記の要領により資格取得のための受験準備講習会を開催いたします。(案内書及び申込書をご希望の場合はご請求ください。)

日時：平成24年8月23日(木)～24日(金)

会場：産学協同センター 4階講堂

※都営地下鉄=新宿線「西大島駅」A3番出口1分

受講料：42,000円(会員は36,000円)

テキスト代・問題集を含む

一般社団法人 東京都溶接協会

〒136-0072 東京都江東区大島 3-1-11 産学協同センター内

電話 03-3685-5448 FAX 03-3682-4902

URL : <http://www.jwes-1st.jp>

「移動式クレーン定期自主検査者安全教育」

— 開催のご案内 —

開催日：平成24年9月25日(火)

会場：ボイラ・クレーン安全協会 5階講習会場

受講料：10,300円

※お問い合わせ、資料の請求は下記へどうぞ

公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会

東京事務所 教育部

〒136-0071 江東区亀戸1-28-6 タニビル5階

電話：03-3685-5222

FAX：03-3685-5746

URL <http://www.bcsa.or.jp>

平成24年度 全国安全週間

期間：7月1日 ▶ 7月7日

スローガン

「ルールを守る安全職場

みんなで目指すゼロ災害」

1 趣旨

全国安全週間は、昭和三年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で85回目を迎える。

この間、労働災害を防止するため、事業場では、労使が協調して、労働災害防止対策が展開されてきた。この努力により、労働災害は長期的には減少してきて

いる。労働災害による死亡者数は減少してきているが、平成二十三年には二千人を超えており、震災を直接の原因とする死亡者を除いてもなお一千人を超える尊い命が労働の場で失われている。一方、労働災害による死傷者数は、平成二十二年、二十三年と2年連続で増加している、このような事態は、いわゆる石油ショック後の景気回復期以来、実に33年ぶりのことである。特に、産業構造の変化等により、製造業、建設業等の労働災害の占める割合が減少し、小売業、社会福祉施設等の労働災害の占める割合が増加している。

労働災害を防止するためには、安全衛生の担当者や労働者による現場の確認、機械設備の安全基準や作業手順などの基本的なルールを守るという、原点に立ち返ることが必要であり、そのことによって労働者の安全を確保し、労働災害ゼロを目指していく必要がある。

このような観点から、平成二十四年度の全国安全週間は、

「ルールを守る安全職場
みんなで目指す
ゼロ災害」

をスローガンとして展開することにしている。



定時総会会場



ボイラー溶接士
溶接技術競技全国大会
福本鐵工(株)臨海工場
優勝者 松本正博様



クレーン運転及び玉掛け
技能競技全国大会
優勝チーム 丸三製紙(株)様

平成二十四年度 定時総会・表彰式開催

六月六日
於 東武ホテルレバント東京
公社 益 株式会社 ボイラー・クレーン安全協会

平成二十四年度の定時総会は六月六日(水)東武ホテルレバント東京(東京都墨田区錦糸一丁目)で開催された。

総会は唐沢会長が議長にあたり議事の審議に入り、平成二十三年度事業報告及び決算報告、並びに平成二十四年度事業計画案及び同収支予算案が承認された。

引き続き、創立五十周年記念感謝状贈呈・安全管理優良表彰等・職員永年勤続表彰及び第49回ボイラー溶接士溶接技術競技全国大会・第43回クレーン運転及び玉掛け技能競技全国大会の表彰式が行われた。

一般社団法人東京都溶接協会の平成二十四年(第五回)定時総会は、六月十四日午後三時から東京都江東区亀戸一丁目のアンフェリオンで行われた。

総会は横田会長を議長に選出して議事の審議に入り、平成二十三年度事業報告及び収支決算報告が承認されたあと平成二十四年度事業計画案と収支予算案を上程し満場一致で承認された。

役員改選については五月

6月24日 於 アンフェリオン

溶接技術競技会 表彰式を開催

一般社団法人 東京都溶接協会

定時総会



左より (株)鈴三テクノ 小山 仁さん(アーク溶接の部優勝) 横田大会会長 津覇車輛工業(株) 持田真人さん(半自動アーク溶接の部優勝)

二十五日の理事会で役員案を審議し了承された、本日その案を上程した旨の報告をした。審議の結果、満場一致で承認された。

総会に引き続き、第五十二回溶接技術競技会の表彰式が行われた。横田大会会長の挨拶に続き、大久保審査委員長の審査講評のあと、表彰が行なわれ、入賞者には会長賞、江東区長賞、江戸川区長賞、ボイラー・クレーン安全協会会長賞、東部地区検定委員長賞、日刊工業新聞社賞、産報出版賞、そして各部門の上位(三位まで)入賞者に会長特別賞が贈られた。

最後に後援団体と来賓を代表して江東区の山崎孝明区長(代理武越経済課長)が祝辞を述べた。その後、約一二〇名により懇親会が開かれ和やかに歓談した。

＜育児・介護休業に関する法律及び雇用保険法の 一部を改正する法律の概要＞

平成22年6月30日に施行された、所謂育児介護休業法の一部改正について適用が猶予されていた常時100人以下の労働者を雇用する事業主は、平成24年7月1日より適用が開始されます。これに伴い、就業規則の変更も視野に入れた対応をする必要があります。

＜改正法の主要部分＞

- (1) 子育て期間中の働き方の見直し
- (2) 父親も子育てができる働き方の実現
- (3) 仕事と介護の両立支援
- (4) 実効性の確保

＜改正の主な内容＞

- (1) 子育て期間中の働き方の見直し
 - ・短時間勤務制度の義務化
短時間勤務制度について、3歳までの子を養育する労働者に対する事業主による措置義務とする。
 - ・所定外労働の免除の義務化
所定外労働の免除について、3歳までの子を養育する労働者の請求により対象となる制度とする。
 - ・子の看護休暇の拡充
現行では小学校就学前の子がいれば一律年5日であったが、改正後は小学校就学前の子が1人であれば年5日、2人以上であれば年10日付与しなければならない。
- (2) 父親も子育てができる働き方の実現
 - ・父母ともに育児休業を取得する場合の休業可能期間の延長（パパ・ママ育休プラス）

父母がともに育児休業を取得する場合、育児休業取得可能期間を、子が1歳から1歳2か月に達するまでに延長する。父母1人ずつが取得できる休業期間（母親の産後休業期間を含む。）の上限は、現行と同様1年間とする。

- ・出産後8週間以内の父親の育児休業取得の促進
妻の出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合、特例として、育児休業の再度の取得を認める。
- ・労使協定による専業主婦(夫)除外規定の廃止
労使協定により専業主婦の夫などを育児休業の対象外にできるという法律の規定を廃止し、すべての父親が必要に応じ育児休業を取得できるようにする。
- (3) 仕事と介護の両立支援
 - ・介護のための短期の休暇制度の創設
要介護状態にある家族の通院の付き添い等に対応するため、介護のための短期の休暇制度を設ける。（年5日、対象者が2人以上であれば年10日）
- (4) 実効性の確保
 - ・紛争解決の援助及び調停の仕組み等の創設
育児休業の取得等に伴う苦情・紛争について、都道府県労働局長による紛争解決の援助及び調停委員による調停制度を設ける。（従前は、育児休業の取得に伴う紛争制度の対象外）
 - ・公表制度及び過料の創設
従前は勧告に従わない場合でも制裁等はなかったが、改正後は会社名の公表制度、報告を求めた際に虚偽の報告をした者等に対する過料が適用される。

指差し呼称で安全確認

指差し呼称は、作業者の不安全行動の防止に効果があるといわれている。「指差し呼称」により確認する対象としては下表のようなものがある。指差し呼称に必要な時間はわずか1～2秒であり、緊急事態への対応で秒を争うような特殊なケースは別として、通常の作業においては時間的なロスにはならず、また、作業者個人で行えるという特徴がある。

人の確認	自分	① 位置（対象物との距離、周囲の危険物） ② 姿勢（頭・腕・足・腰などの位置） ③ 服装（作業帽・作業服・ボタン・そで口など） ④ 保護具（ヘルメット・あごひも・安全靴・靴ひもなど）
	共同作業	相手の位置・姿勢・服装・保護具・合図など
物の確認	計器類	指示計器（温度計、流量計など）、警報設備
	操作機器	ハンドル（右回りか左回りか）、バルブ（開か閉か）、レバースイッチ（オンかオフか）、電源（開か閉か）、操作パネル（自動か手動か）、インターロックなど
	治工具	ナイフ・スパナ・ハンマーなど（所定のもの、状態）
	資材・製品などの置き方	積み方（高さ）、位置・方向・角度
	標識	危険物・有害物、立入禁止、停止線、火気厳禁、表示ランプ
	保護具	保護帽、保護メガネ、耳栓、マスク、手袋、安全靴、シートベルトなど（性能など）

※ 上段は学科 下段は実技		講習予定表			公益社団法人 ボイラ・クレーン安全協会 URL:http://www.bcsa.or.jp				
講習名	事務所	7月	8月	9月	講習名	事務所	7月	8月	9月
玉掛け技能講習	東京	10 11 22		6 7 23	フォークリフト運転技能講習	東京	3 4 7 8 15		3 8 9 16
	千葉	4 5 8		5 6 9		千葉		15 16 17 18 19	
	埼玉		1 2 5	5 6 8		埼玉	12 14 21 22		11 12 15 22 23
	神奈川	13 14 15	29 30 9/2			神奈川	6/27 1 7 8		
	茨城	5 6 8		13 14 16		茨城	13 13 15 15 22 29		
	栃木	3 4 5	7 8 9	4 5 6		栃木	13 24 14 15 16:25 26 27	28	14 25 15 16 17:26 27 28
	甲信	19 20 22	23 24 26	6 7 9		甲信		29 30 31	
	小型移動式クレーン運転技能講習	東京				19 20 23	床上操作式クレーン運転技能講習	東京	12 13 15 21
千葉				5 6 9	千葉		2 3 5		
埼玉	3 4 7			23 24 26	埼玉	25 26 28	22 23 25	26 27 29	
神奈川				9 10 11	神奈川			26 27 30	
茨城					茨城		23 24 26		
栃木					栃木	18 19 20		11 12 13	
甲信					甲信	5 6 7		20 21 22	

★他の講習も実施しています。詳細については、各事務所にお問合わせください。

ボイラ・クレーン安全協会 〒136-0071 江東区亀戸6-41-20 機匠健保会館2階 TEL 03-3685-2141 FAX 03-3685-2189	神奈川事務所 〒231-0007 横浜市中区弁天通4-59 横浜弁天通第一生命ビル3階 TEL 045-662-2860 FAX 045-662-8768
東京事務所 〒136-0071 江東区亀戸1-28-6 タニビル5階 TEL 03-3685-5222 FAX 03-3685-5746	茨城事務所 〒300-0875 土浦市中荒川沖町2-6 ツインビル3階 TEL 029-843-0740 FAX 029-841-1968
千葉事務所 〒260-0028 千葉市中央区新町18-10 千葉第一生命ビル2階 TEL 043-247-5532 FAX 043-247-5576	栃木事務所 〒322-0016 鹿沼市流通センター46番地 TEL 0289-72-1717 FAX 0289-76-6090
埼玉事務所 〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-2 JA共済埼玉ビル6階 TEL 048-643-1543 FAX 048-643-1524	甲信事務所 〒400-0212 山梨県南アルプス市 下今諏訪610番9 TEL 055-287-9511 FAX 055-287-9512

一、日時・会場
学科Ⅱ七月十日(火)午前九時

アーク溶接作業
従事者特別教育

二、受講料 一三、〇〇〇円
テキスト代 六〇〇円

一、日時・会場
学科Ⅱ八月十八日(土)午前九時

ガス溶接技能講習

一、日時・会場
学科Ⅱ八月十八日(土)午前九時

JIS溶接評価試験
日時・会場
八月二十五日(土)
城東職業能力開発センター



<申込先>
一般社団法人
東京都溶接協会
東京都江東区大島 3-1-11
産学協同センター内
TEL 03-3685-5448
FAX 03-3682-4902

二、受講料
会員 七、〇〇〇円
一般 九、〇〇〇円

一、日時・会場
学科Ⅱ七月十一日(水)午後一時

グラインダ特別教育

二、受講料
学科Ⅱ会員 九、〇〇〇円
一般 一、〇〇〇円

時々午後五時、十一日(水)午前九時午後〇時
江東区大島三十一、産学協同センター

※行事・祭は変更になる場合
合があります。事前に関係諸団体に確認下さい。

- 31日 芦ノ湖湖水祭
- 24日 相馬野馬追大祭
- 22日 大暑
- 21日 勤労青少年の日
- 16日 海の日
- 15日 ぼん送り火
- 13日 ぼん迎え火
- 11日 第23回マイクромン展(13日)
- 9日 成田不動尊祇園会
- 7日 小暑
- 6日 東京入谷朝顔市(8日)
- 5日 第19回東京国際フックフェア(8日)
- 4日 米国独立記念日
- 1日 国民安全週間(7日)



七月(文月)